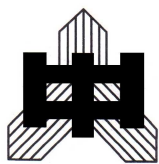
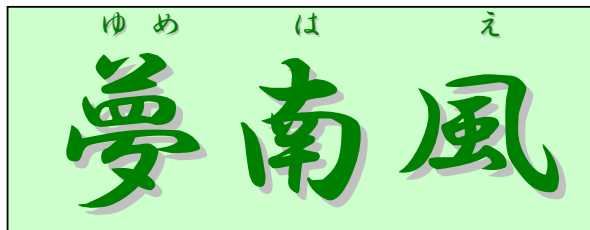


創立77周年



誠実 勉学 健康

学校便り1月号



令和6年1月31日発行
鹿児島市立河頭中学校
鹿児島市犬迫町1168
Tel 099-238-2663

生徒数 合計83名
1年33名, 2年27名, 3年23名

「未来とは、想像するものではなく自分で可能にするもの」

校長 瀧脇 広智

新年明けましておめでとうございます。今年1年が生徒、保護者及び地域のみなさま方にとって健康で幸多き年でありますことを心からお祈り申し上げます。

さて、3学期のスタートに当たり、冬休みに大きな事故等もなく、おかげさまで生徒が元気に登校してくれました。うれしいかぎりです。始業式では、各学年・生徒会の代表の生徒が3学期に向けての抱負を発表しました。4人ともしっかりとした態度で、冬休みの反省や3学期の目標を踏まえた学校生活について、具体的でやる気のある発表をしてくれました。各学年の生徒たちも自分のこととして受け止め、3学期に向けての気持ちを新たにしたいと思っております。

「星の王子さま」の著者サン＝テグジュペリは、「計画のない目標はただの願い事にすぎない」と言っています。でも私は願い事は願い事として、それ自体は悪いことではないと思っております。しかし、願いを叶えたいと思えば、それを目標と自分の中で捉え、計画を練り、実行に移していかなければ叶うことはないことも事実です。

みなさんにとって大事なことは、今年は去年のままの自分であってはならないということだろうと思っております。1年生は、2年生に。2年生は3年生に。3年生は、卒業して自分探しの旅へと巣立っていきます。そのために今やらなければならないことをただ粛々と実行するだけのことです。何を……。勉強です。「勉強」には、「物事を習い覚えること」という意味もありますが、「努力して困難に立ち向かうこと・気が進まないことをやること」という意味もあります。そして、先生方や教科書から得た知識をもとに、積極的に技術・知識を習得することが「学び」なのだそうです。

なぜ勉強をするのか？それは、生徒のみなさんが社会の中で自分らしく生きることができる存在になっていかなければならないからです。

3年生は、いよいよ高校入試が始まります。旅立ちまであと少しです。感謝と希望に満ちた春が来るよう、学級一丸となって頑張ってもらいたいと思っております。

2年生は、2月3日立春の頃に、「立志」を迎えます。「立志」とは、文字通り志を立てると書きます。2年生にとって、この3学期は3年生への出発の時でもあります。そのことを意識して文武両道頑張ってもらいたい。

1年生は、初めての中学校生活、みなさんは本当に素直に、一生懸命頑張っています。新入生の手本となれるように残りの3か月でもっと高めていってほしい。

未来とは、自分で想像するものではなく自分で可能にするものです。3学期は、それぞれの学年が次のステージに上がることを常に意識して、感染予防を徹底しながら、充実した学校生活を送ってくれることを期待しています。

保護者・地域のみなさま方におかれましても引き続き、本校の生徒たちを見守り、励ましていただきますようよろしくお願いいたします。



人事を尽くして 天命を待つ

「人間としてできるかぎりのことをして、その上は天命に任せて心を労しない」
(広辞苑から)

…きっと、最善を尽くしてできる限りのことをしたら、その結果がどうであっても新しい道が開けるのだ…と思います。

先日27日で、全ての私立高校の入試が終了し、先行実施された高校では、その結果発表がスタートしています。受験した3年生にとっては緊張した受験だったでしょうが、今は、上記の心境でしょうか？その結果を受けて、今後の動向が変化する人もあるかと思いますが、それを「どうとらえるか」が重要です。そこに今後のヒントがあります。前提として、「**ベストを尽くす**」ことが基本でしょう。

～幸せのヒント～「先の結果をどう考えるか」

- ① 悪い結果を心配して、ただ心を労する
- ② 結果は天に任せて、心を労しない
- ③ 良い結果を期待して、ワクワクする

- 悪い結果に不安に感じたら、**結果を良くするために今できることをする。**
- 結果をあれこれ考える時間があったら、**結果を良くするために今できることをする。**
- **良い結果を期待してワクワクしながらベストを尽くせたら、一番いい・・・**のではないのでしょうか。

私たちの弱点は人事を尽くさないところにあると思います。何かを成そうと思いつつ途中でくじけてしまうということが多くありますし、あるいは精一杯やることをやらないで、運よく事が成就するように願ったりします。

「人事をつくして天命を待つ」という言葉は、事を成就させるにあたって、自分の力を超えた大いなる働きは、自分の力をつくし精神をつくして、全力を出したときに現われるということを表わしています。つまり、最初から「天命」をあてにすることはイカンということです。

「苦しいときの神頼み」という言葉もありますが、前述したように「ベストを尽くす」ことが基本にあります。私立入試は終わりましたが、まだ多くの3年生は公立受検を残しています。

これから残る日々の約1か月をどのように過ごすのか？進路が決まった生徒はどうすべきなのか？その答えはどんな公式でも解けません。自分で考え、導き出すしかないんです。一段落はしましたが、決して終わったわけではありません。みなさんには、これからの日々への取組が問われます。3月5～6日が終わったあと、「**天命**」を待てるか？これは1～2年生のみなさんも他人事ではありませんよ。

2月

自分との勝負に終わりはありません。

の学校行事から

- 2日(金)：令和6年度新入生入学説明会、PTA三役会・役員会
- 3日(土)：小山田校区「立志のつどい」
- 4日(日)：伊敷校区「立志のつどい」
- 6日(火)：教育課程実施状況調査①②(1年：社会、2年：国語・英語、3年：数学・理科)
- 6日(火)～15日(水)：テスト前部活動停止期間
- 8日(木)：第3回学校保健委員会
- 13日(火)～15日(木)：学年末テスト(13・14日は5～6カット、給食後下校)
- 16日(金)：複数ALT来校、全学年夢南風⑤⑥
- 27日(火)：第4回学校運営協議会
- 29日(木)：2年生「性に関する指導」
- 3月1日(金)：授業参観⑤、学年末PTA・地区PTA

